

ただいま、全国市議会議長会表彰並びに北信越市議会議長会表彰を受彰されました、岡本議長をはじめ、6名の皆様方には、心よりお祝い申し上げます。

今後とも、ご健勝でさらなるご活躍をいただきますようご期待申し上げます。

本日、ここに平成25年第2回市議会定例会が開会されるにあたり、最近の市政の状況と提案をいたしました諸議案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

はじめに、最近のわが国の経済情勢についてであります。

景気は、緩やかに持ち直しており、先行きにつきましては、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、次第に回復へ向かうことが期待されております。しかしながら海外景気の下振れが、引き続き景気を下押しするリスクとなっており、雇用・所得環境の先行きなどにも注意が必要であります。

このような中、国におきましては、先月15日に一般会計総額9兆6,000億円余に上る今年度の予算がようやく成立いたしました。大規模な金融緩和と財政出動により、今後、景気がより一層好転し、地域経済に好循環を生み出すものと大いに期待するところであります。

また、本市における立地企業の業績につきましても、円安の効果を反映するなど、概ね回復傾向を示しており、平成24年度の法人市民税は、前年度を約1億5,000万円程度上回って収入できる見込みであります。

それでは、最近の市政の状況についてご説明申し上げます。

はじめに、企業立地の促進についてであります。

将来に向けて、活力のある行財政運営を行っていくためには、企業誘致を積極的に進めていくことが重要であり、誘致活動を加速させる必要があります。

そのために、現在、整備中の山島地区新工業団地のほか、一部未分譲となっている市内工業用地の早期分譲を目指し、今定例会におきまして、工場立地助成金制度を拡充することといたしております。

内容につきましては、これまで対象としていた、土地、建物、新規雇用に加え、今回新たに設備を交付対象とするとともに、交付限度額を県内市町の中では最大の10億円に引き上げるものであります。

県の制度との併用により50億円までの助成が可能となり、企業誘致のPR効果は絶大であります。

今後とも、企業立地室と東京事務所がタイアップし、外に向けた戦略的なアプローチにより、大型優良企業の誘致につなげていきたいと考えております。

次に、北陸新幹線（仮称）白山駅についてであります。

去る4月25日に期成同盟会を構成する白山市、能美市、野々市市、川北町の首長及び議会議長の皆様方とともに、県幹部同行のもと、県選出の国会議員、国土交通省等に対し、白山駅の認可を要望してまいりました。

国会議員や各省の幹部の方々へ要望書を直接手渡し、ご説明申し上げましたところ、国会議員の皆様方にはしっかりと受け止めていただき、全面的に応援する旨のお約束をいただいたところであります。また、国土交通省幹部の皆様方からも、ともに頑張っていきましょうとの激励の言葉をいただき、白山駅の実現に向けて大きな一歩を踏み出すことができたと感じております。

今定例会におきましても、北陸新幹線白山駅整備基金を創設することとしており、いよいよ具現化に向けて動き出したと実感しているところであります。

今後も引き続き、3市1町と県が一丸となって、国及びJR西日本に対して強く要望してまいりたいと考えており、議員各位におかれましても、絶大なるご支援とご協力をお願いする次第であります。

次に、行財政改革の取組みについてであります。

公共施設の見直しにつきましては、行財政改革大綱、公共施設の統廃合及び管

理見直し方針に基づき、順次、民営化や地元管理、目的変更による有効活用などを進めております。

まず、民間の指定管理者による公共施設の運営につきましては、ハーブの里ミントレイノが4月に北陸初のオルゴール療法の拠点施設としてリニューアルオープンし、癒しの空間として高い注目を集めております。

また、白山セミナーハウス望岳苑につきましては、今般、全国公募により、民間事業者2社からの提案を受け、1社を選定したところであり、白山の恵みを都内へ発信する試みなど、魅力のある運営が期待されるところであります。

宿泊施設につきましては、今後も、こういった民間のノウハウを活かした指定管理者制度の導入を、検討してまいりたいと考えております。

公立保育所の民営化につきましては、来年4月に民営化となる白峰保育所につきまして、県内初のNPO法人による運営が決定し、先進的な取組みが期待されるところであります。

また、児童館及び児童センターにつきましては、保育所との併設など複合施設内での運営も行われていることから、今後の管理、運営に当たりましては、公立保育所の移管先法人による一元管理や指定管理者制度の導入、さらには、法人による新たな施設運営なども視野に入れ、検討していくこととしております。

さらに、松任海浜温泉を含む5つの市民温泉施設につきましては、今年度末の指定管理期間の更新を機に、管理委託の公募を進めるとともに、公立図書館におきましても、利用者の希望に添える図書館運営を目指し、窓口業務の一部外部委託など、管理体制の見直しを積極的に検討してまいります。

また、地域コミュニティの中核である公民館につきましては、公共施設の統廃合により移転が避けられないものや、老朽化で継続利用が難しい、また、耐震基準に満たない、などの課題があるため、早急に現況調査を行い計画的な整備について検討してまいりたいと考えております。

行財政改革の推進につきましては、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠であり、今後とも、より一層の情報開示に努めるとともに、間近に迫る地方交付税の段階的減額措置を見据え、持続可能な行財政基盤の確立を図ってまいり所存であ

ります。

次に、観光事業の推進についてであります。

世界ジオパーク認定に向けた取組みについては、先月20日に、千葉県幕張において開催された、日本地球惑星科学連合大会におきまして、世界ジオパークの推薦を受けるための公開審査が行われ、北海道のアポイ岳、九州の霧島とともに、白山手取川ジオパークもプレゼンテーションを行ってきたところであります。夏に行われる現地審査では、万全の態勢で臨みたいと思っております。

また、来月、本市の友好訪問団がドイツのラウンハイム市とイギリスのボストン町を訪問いたしますが、その際にドイツの世界ジオパークであるアイフェル火山地帯を視察し、世界認定に向けた海外での活動実績を積み重ねていきたいと考えております。

次に、4月16日に締結しました岐阜県白川村との観光都市交流に関する協定につきましては、更なる広域連携による観光交流を深めるとともに、現在、9月29日に開催される白山・白川郷100kmウルトラマラソンに向け、両自治体が連携協力をいたしているところであります。

次に、白山手取川ジオパークの知名度アップの取組みにつきましては、このほど、白山ろくのエンドや登山道250kmを7日間で踏破する「白山ジオトレイル」が、白山ジオトレイル実行委員会により来年9月に開催されることが決定をいたしました。今年度は、9月14日から16日までの3日間、100kmを踏破するプレ大会が行われます。

来年の本大会には、海外からも多数の参加者が見込まれ、ウルトラマラソンと同様に、白山手取川ジオパークを大きく世界にPRできるものであることから、成功に向け支援をしてまいります。

次に、白山市観光連盟の活動と北陸新幹線誘客対策の取組みについてでありま

す。

本年1月に発足した白山市観光連盟では、この4月に、連盟として初の事業となる「初め湯まつり」を白山ろくの温泉において開催いたしました。14の宿泊施設の入浴を無料開放したところ、約5,000人ももの来場者で賑わい、物産の販売も大変好調でありました。オール白山の協働体制が実を結び、非常に良いスタートを切ることができたのではないかと考えております。

平成27年春の北陸新幹線金沢開業に向けて、4月より「白山ブランドPR戦略」の策定に取りかかっております。北陸新幹線誘客対策室が中心となり、8月末の策定に向け、急ピッチで作業を進めておりますが、秋からの事業展開をより即効性をもって進める必要があるため、白山市観光連盟においては、観光産業に精通した民間からの人材登用を図ることとしており、市といたしましても、支援をしてまいりたいと考えております。

次に、「熱狂の日音楽祭」の入込みと白峰地区の「重要伝統的建造物群保存地区」を活用した誘客についてであります。

4月21日から5月3日までの間、松任駅周辺の文化施設を中心に開催いたしました「熱狂の日音楽祭」につきましては、連日、多くの皆様のご来場により、延べ1万6,000人の集客を数えたところであります。県内各地からお越しをいただいております。なお一層の定着を図ってまいりたいと考えております。

また、昨年7月に国の「重伝建保存地区」に選定された白峰地区であります。白峰独特の文化の香りと「重伝建」の選定が相乗効果となり、ゴールデンウィーク期間中の入場者数が、白峰温泉総湯をはじめとする各施設で昨年度を約30%上回る結果となりました。現在、庁内関係部局による観光誘客対策会議において、「おもてなし力の向上」「休憩施設の整備」「建物の公開」など、鋭意検討を進めており、今後とも、屋号の表札化や雪だるま石プロジェクトなど、新たな観光情報の発信を進めている地元と連携し、白山市の奥座敷としての魅力創造に努めてまいりたいと考えております。

次に、白山菊酒等の普及の促進についてであります。

このほど、白山菊酒呼称統制機構を組織する清酒蔵元5社が、新しいキャッチフレーズ「日本酒の聖地・白山」を明示した統一シールによる白山菊酒の認知度を高める活動を開始いたしました。

白山菊酒は、全国数ある清酒の産地のなかで唯一、「白山」を指定産地名とする国税庁の地理的表示の保護を受けており、本市といたしましても、「白山菊酒等の普及の促進に関する条例」を制定し、伝統産品としての一翼を担う白山菊酒等を盛り上げ、より一層普及の促進に努めてまいります。

次に、風しんの予防接種についてであります。

風しんが全国的に流行するなか、この時期の国内の患者数が、すでに、昨年1年間の3倍を超える勢いで増え続けております。妊婦が風しんに感染すると、胎児が心疾患や難聴などの「先天性風しん症候群」になる恐れがあるため、本市におきましては、来年3月までに予防接種を受けられる、妊娠を希望する女性及びその夫に対しまして、費用の2分の1相当を助成することとしたいと考えております。

次に、幹線道路の供用開始についてであります。

まず、宮永町から御経塚方面へ通ずる旧大規模農道・市道「横江北部幹線」につきましましては、先月1日に全線4車線での供用となり、また、北陸新幹線白山総合車両基地の整備により地下道化を進めておりました市道「宮丸北安田線」につきましても、先月10日に供用開始となったところであります。長期の通行止めなどご不便をお掛けしましたが、ようやく解消することができ、県道1路線、市道3路線、全ての地下道化整備が完成したところであります。

次に、道の駅の整備検討状況であります。

これまで、2回の幹事会を開催し、素案の作成を進めているところであります。近く、国、県の行政機関及び各種団体の方々に組織する「白山市道の駅整備検討協

議会」を設立する予定であり、国道8号の沿線における、道路交通情報の提供、観光情報の発信、防災拠点の機能を併せ持つ「道の駅」の整備検討を行ってまいります。

次に、桜の名勝整備事業についてであります。

今年度から松任総合運動公園において、桜の里親制度を実施し、桜の名勝づくりを推進しております。今年の市内のソメイヨシノの開花状況であります。平野部では3月30日頃から開花し始め、鶴来地区は4月2日頃、河内・吉野谷・鳥越地区では、4月5日頃、尾口・白峰地区においては、4月17日頃から開花し始め、5月上旬までの1か月以上にわたり、市内各地で花見が楽しめました。

今年度は、平野部に比べ、比較的、桜の植樹が少ない白山ろく地域で2か所程度を、桜の名勝候補地として選定することとしており、今後は、広い市域を有する本市の特徴を踏まえ、市内全域での名勝づくりを進めていきたいと考えております。

次に、（仮称）白山市立野球場についてであります。

先般、相木野球場の代替施設となる（仮称）白山市立野球場の整備概要をご説明申し上げたところであります。今後は、市民が使いやすい野球場建設を目指し、建設候補地の選定を含め、皆様方と協議を進めてまいりたいと考えております。

次に、市長等及び一般職の職員の給料の減額措置についてであります。

東日本大震災を契機として、防災・減災事業への取組みなどに対応するため、昨年4月より国家公務員の給与が減額されておりますが、地方公務員においても国に準じて必要な措置を講ずるよう要請があったところであります。

本市の対応といたしましては、国家公務員の給料減額後のラスパイレス指数が102.7でありますので、一般職の給料については、一律2.7%を減額し、市長、副市長及び教育長の給料については、5.4%を減額することとし、本年7月1日から今年度限りの措置として、実施するものであります。

次に、平成24年度決算見込みについてであります。去る5月31日をもって出納を閉鎖し、現在、計数整理中ではありますが、一般会計の歳入においては、市税、国、県支出金等が確定いたしました。歳出におきましては、各種事務事業の効率的な執行に鋭意努めてきた結果、実質収支で9億円余りを平成25年度に引き継ぎ、財政調整基金につきましても、当面の目標であった20億円を確保することができる見込みであります。

なお、観光事業特別会計につきましても、平成24年度中に繰上充用金が全額解消され、本年度より一般会計に移管されております。

それでは、提案いたしました諸議案について、ご説明申し上げます。

提出案件は、補正予算案2件、条例案12件、事件処分案14件、専決処分の承認にかかるもの10件、報告案件5件の計43件であります。

はじめに、議案第66号及び67号の平成25年度補正予算案についてであります。

一般会計につきましても、補正予算額11億8,600万円余となるものであります。その主なものとしましては、民生費では、法人保育園施設整備費に係る国庫補助金が、県を経由して市へ交付されることとなり、6か所の法人保育園に係る所要の経費を計上するものであります。また、労働費では、緊急雇用創出事業費を計上し、土木費では、追加採択となった社会資本整備総合交付金事業に係る道路関連事業費を計上するものであります。教育費については、旧松南小学校の解体等整備事業費を、また、鶴来地域の林公民館多目的ホール整備に係る実施設計費を計上いたしております。

特別会計につきましても、湊財産区特別会計において、社会資本整備総合交付金事業の追加採択に伴い実施する消融雪整備事業に係る一般会計への繰出金を計上するものであります。



次に、議案第68号から第79号までの条例案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「白山市白山菊酒等の普及の促進に関する条例」の制定につきましては、本市の伝統産品である白山菊酒の普及の促進を目指すものであります。

「北陸新幹線白山駅整備基金条例」の制定につきましては、寄附者の意向に沿って、北陸新幹線白山駅の実現に向けた活動や白山駅の整備負担金に充当するため、基金を創設するものであります。

「市長等の給与の特例に関する条例」及び「白山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、市長等及び一般職の職員の給料の減額について、今年度に限る措置として、改正を行うものであります。

「白山市における工場立地の促進に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、工場立地助成金の交付対象の拡大、助成率及び限度額の引上げなど、関係規定の改正を行うものであります。

次に、議案第80号から第93号までの事件処分案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「指定管理者の指定」につきましては、「白山セミナーハウス望岳苑」の指定管理者となる団体の名称及び指定の期間について、「建設工事請負契約」につきましては、入札結果に基づき、「財産の取得」につきましては、山島地区新工業団地土地区画整理事業の用に供するため、土地を購入することについて、それぞれ議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第94号から第103号までの専決処分の承認について、その主なものをご説明申し上げます。

「白山市税条例の一部を改正する条例」等につきましては、関係法令等の改正に伴い、所要の改正を行ったものであります。

また、補正予算の専決処分の承認につきましては、平成24年度の一般会計補正予算におきまして、国、県支出金や市債等の額の確定、各特別会計への繰出金の調

整のほか、事業の完了に伴う決算見込みをもとに11億5,000万円余の減額補正を行ったものであり、その結果、平成24年度一般会計予算の総額は573億4,000万円余となったところであります。

次に、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険事業など、それぞれの特別会計につきましても、事業費の確定に伴う減額補正、決算調整による基金積立金の増額及び財源更正等を行ったものであります。

次に、報告第1号から第5号までの報告案件について、その主なものをご説明申し上げます。

平成24年度の一般会計繰越明許費繰越計算書につきましても、産地再生関連施設緊急整備事業費など計41事業について、また、湊財産区特別会計繰越明許費繰越計算書におきましても、消融雪施設整備事業負担金について、下水道事業会計予算繰越計算書につきましても、公共下水道管渠埋設事業など計3事業について、それぞれ繰越額並びに財源内訳を議会に報告するものであります。

また、白山市土地開発公社及び一般財団法人白山市地域振興公社の平成24年度経営状況につきましても、地方自治法の定めにより、それぞれ議会に報告をするものであります。

以上をもちまして、今期定例会に提出をいたします議案の説明を終わりますが、何卒慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願いいたします。